

流線型回転灯 **TYPE** HKFM-M1GSMF-R 取扱説明書

■ お客様へ

- このたびは、パトライト製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
- ご使用前に本書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、本書は大切に保管してください。
- ご不明な点は、末尾に記載の技術・修理相談窓口へお問い合わせください。
- 本製品を車両走行中に使用することは、道路運送車両法や道路交通法などで規制されており許可が必要です。許可申請については、お近くの管内運輸支局、事務所、自動車検査独立行政法人にお問い合わせください。

■ 架装または施工、取付業者様へ



- 取付け前に本書をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。
- 本書は必ずお客様にお渡しください。

1. はじめにお読みください




1.1. 安全に関する表示について

お使いになる人や他の人への危害や財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を無視して誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しております。



 警告	この表示の欄は、「死亡または重症を負う可能性が想定される内容」を示します。
 注意	この表示の欄は、「人が障害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示します。

- お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。




	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。
	この絵表示は、特定しない一般的な「注意」内容です。

1.2. 安全上のご注意

警告

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 一般的に製品を長期間使用されますと、電子部品や基板の劣化、絶縁不良、接触不良などにより、製品の発煙・発火、感電など安全上の問題が発生する場合があります。また、樹脂、金属、ゴム、シール材などの材料の経年劣化により、製品の変形、破損、浸水、故障などの問題が発生する場合があります（屋外で使用されている製品は、経年劣化が促進されます）。お客様の使用頻度や使用環境などの条件により製品の寿命は大きく異なりますが10年以上のご使用をされないようお願いします。なお、グローブやゴムマグネットにつきましては、異常の有無に関わらず、2年ごとの交換をお薦めします。 ● 心臓ペースメーカ等の体内植込型医療用電子機器を装着している方は使用しないでください。また装着した人に本製品を近づけることもおやめください。本製品の磁力により機器に影響を及ぼす可能性があります。 ● ゴムマグネットをルーフに装着するときにルーフへ保護シートなどを貼り付けた上に装着して使用しないでください。製品の着磁力が低下し脱落する恐れがあります。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品を安全重視の保安目的でご使用される場合には必ず日常点検を実施してください。万一の故障や誤作動などによる重大な事故を防止するため、システムとして他の機器と併用してください。 ● 製品や取付箇所に異常が見られる場合は、速やかに不良箇所を交換してください。 ● 付属のストッパーピンの取り付けは必ず専門業者へ依頼してください。 ● 走行中の本製品落下防止には十分に配慮してください。 ● 本製品を装着時は必ず100km/h以下で走行してください。 ● 本製品を装着時は必ずストッパーピンを使用して車両と固定して使用してください。 ● 製品ゴムマグネット面と取付面の間に雪、霜、氷、水分、砂、ホコリ等の汚れがないこと、また製品ゴムマグネット面に鉄粉付着がないかご確認ください。設置時、接地面にキズをつけ、製品の着磁力が低下し脱落する恐れがあります。 ● ゴムマグネットが少しでも浮きやはみだしがあると固定に必要な磁力を得る事ができません。製品ゴムマグネット面全てを必ず密着させてください。 ● 本製品の取付時、取付面が着磁する金属素材であることを確認してください。また取付面が凸凹の箇所には取り付けしないでください。その状態で走行すると脱落する恐れがあります。

注意

 禁止	<ul style="list-style-type: none"> ● 本製品を取り付けた状態で洗車機にかけたり、高圧洗車をしたりしないでください。破損や、浸水して故障する恐れがあります。 ● 本製品の発光中は、至近距離で光を見ないようにしてください。視力障害になる恐れがあります。 ● 磁気式カード・電子機器など磁気の影響を受けやすいものに近づけないでください。データの消失、誤作動、故障の原因となる恐れがあります。
 強制	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品を取り付ける方向は正しい方向で取り付けてください。脱落する恐れがあります。 ● 取付面キズ防止の為、製品を取り外す際は製品を引きずらず必ず持ち上げるように取り外してください。製品を取り外す際はゴムブラケット後方のつまみを上側に引っ張り持ち上げてください。
 注意	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品装着時は車高が高くなるため接触に注意して走行してください。

2. 型式構成

	型式		ゴム マグネット	発光パターン 切替機能付き	プラグ コネクタ	フックプレート、 吸着盤付き		発光色
型式記号	HKFM	-M1	G	S	M	F	-	R


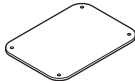
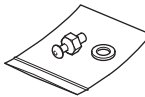


HKFM

流線型回転灯
(マグネット取付)

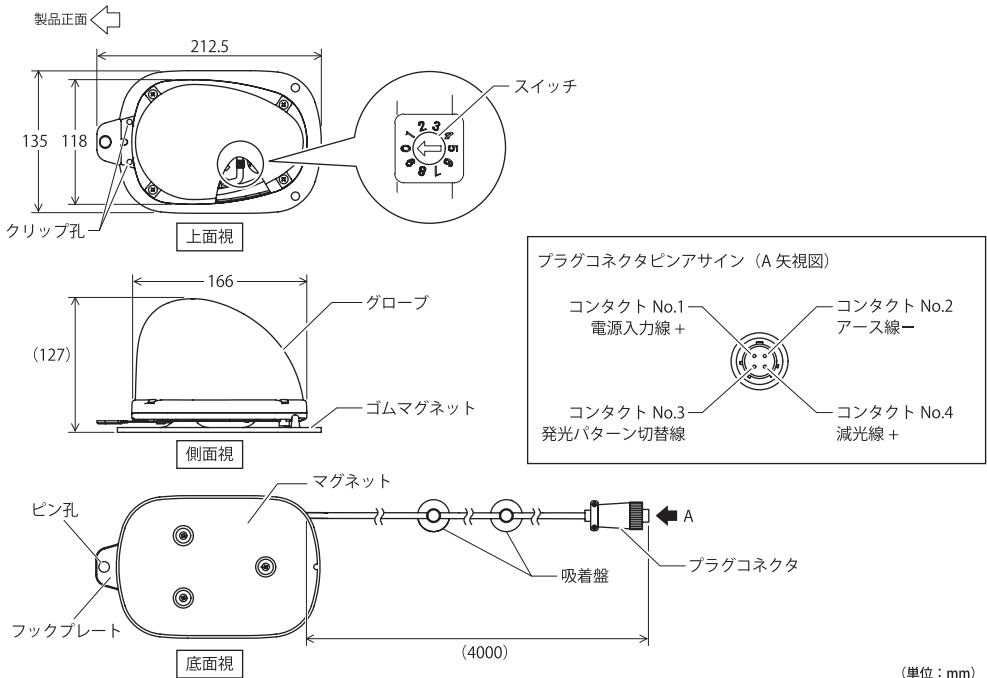
R

赤

3. 内容物

内容物	本体 	サービス プレート 	ストッパーピン 	収納袋 	取扱説明書 (本書) 
個数	1台	1枚	1組	1個	1部

4. 各部の名称と寸法



5. 機能

5.1. 機能説明

本製品には下記の機能があります。用途に合わせて使用してください。

機能名	説明
減光機能	発光する明るさを2段階で切り替えることができます。 〔「全光」 ↔ 「減光」〕
発光グループ選択機能	本体のスイッチを切り替えることで、10種類の発光グループを選択することができます。(スイッチ No.0～9)
発光パターン切替機能	グループ内で2種類の発光パターンを切り替えることができます。 〔「CH1」 ↔ 「CH2」〕

5.2. 発光パターン詳細

本製品の発光パターンの詳細です。

5.2.1. 発光パターンの種類

発光グループ / スイッチ No.	発光パターン	
	CH1	CH2
0 (工場出荷状態)	回転 (312 回 / 分)	ホタル (20 回 / 分)
1	回転 (250 回 / 分)	
2	回転 (180 回 / 分)	
3	回転 (120 回 / 分)	
4	回転 (250 回 / 分)	点滅 (67 回 / 分)
5	回転 (180 回 / 分)	
6	トリプルフラッシュ (133 回 / 分)	ホタル (20 回 / 分)
7	高警告フラッシュ (67 回 / 分)	
8	回転 (250 回 / 分) 左斜め前	回転 (250 回 / 分) 右斜め前
9	回転 (250 回 / 分) 左斜め後	回転 (250 回 / 分) 右斜め後

5.2.2. 各発光パターンの発光方法と発光部位

発光パターン	発光方法	発光部位
回転 (312 回 / 分)	時計回り	全周 (全光)
回転 (250 回 / 分)		
回転 (180 回 / 分)		
回転 (120 回 / 分)		
トリプルフラッシュ (133 回 / 分)	フラッシュ	
高警告フラッシュ (67 回 / 分)		
ホタル (20 回 / 分)	ゆるやかな点滅	
点滅 (67 回 / 分)		
回転 (250 回 / 分) 左斜め前	反時計回り	左斜め前 (全光)、他 (減光)
回転 (250 回 / 分) 左斜め後		左斜め後 (全光)、他 (減光)
回転 (250 回 / 分) 右斜め前	時計回り	右斜め前 (全光)、他 (減光)
回転 (250 回 / 分) 右斜め後		右斜め後 (全光)、他 (減光)

6. 設定、配線、設置、操作

6.1. 設定

⚠ 警告

- ❶ グローブを取り付ける際はネジの締め忘れ、ゆるみが無いように確実に取り付けてください。不完全な取り付け状態で走行した場合、グローブの脱落に至る恐れがあります。

⚠ 注意

- ❶ スイッチを、強い力で操作しないでください。強い力で操作すると、故障や破損の原因となります。
- ❶ 作業の際は、ベルトをねじったり強く引っ張ったり負荷を掛けたりしないよう注意してください。

❶ グローブを外す

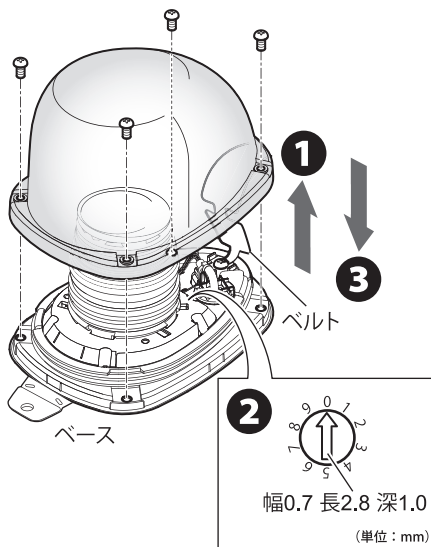
- ・グローブを取り外すにはネジ（4か所）を外してください。
- ・グローブおよびベースからベルトを外さないでください。外すとグローブの脱落につながる恐れがあります。

❷ スイッチを調整する

- ・マイナスドライバーでスイッチを回し、設定する発光パターンに合わせてください。
- ・マイナスドライバービット寸法（参考）：
刃厚0.5～0.6、刃幅2.0～2.2（単位：mm）

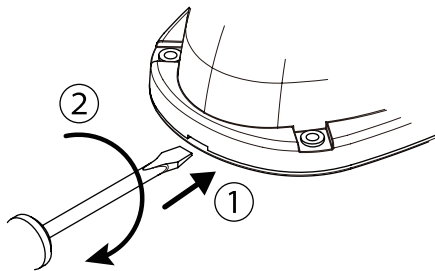
❸ グローブを取り付ける

- ・ベルトがねじれないように注意してください。
- ・グローブのネジ（4か所）を締め付けてください。
（推奨締め付けトルク 0.6N・m）



グローブが外れない場合

- ・マイナスドライバーの先端を製品後側にあるグローブとベースの隙間に入れ、マイナスドライバーを回すと隙間が広がります。
- ・製品に傷がつかないように、マイナスドライバーの取扱いに注意しておこなってください。



マイナスドライバービット寸法（参考）：
刃厚0.8～1.1、刃幅6～9（単位：mm）

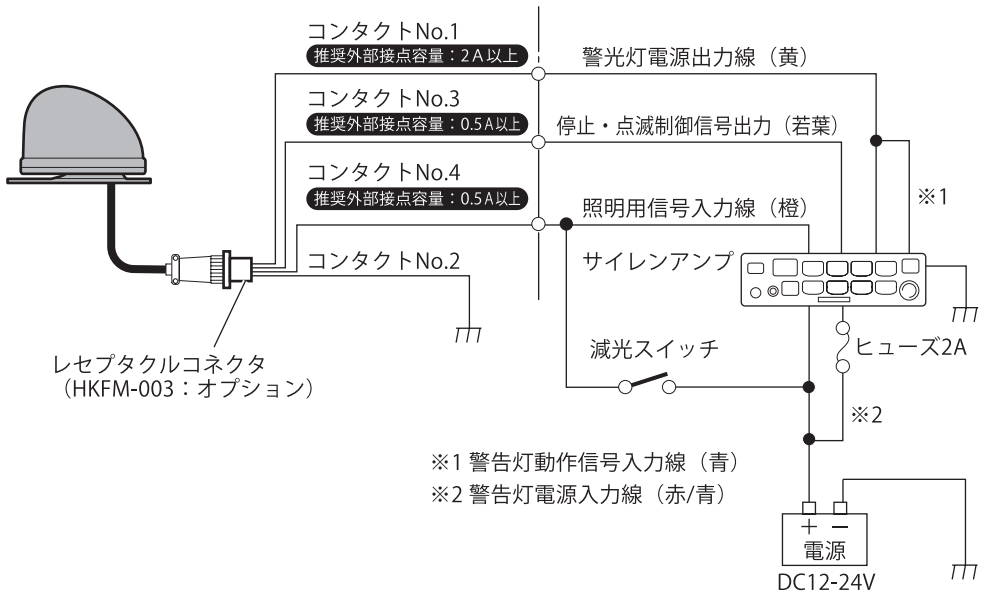
6.2. 配線



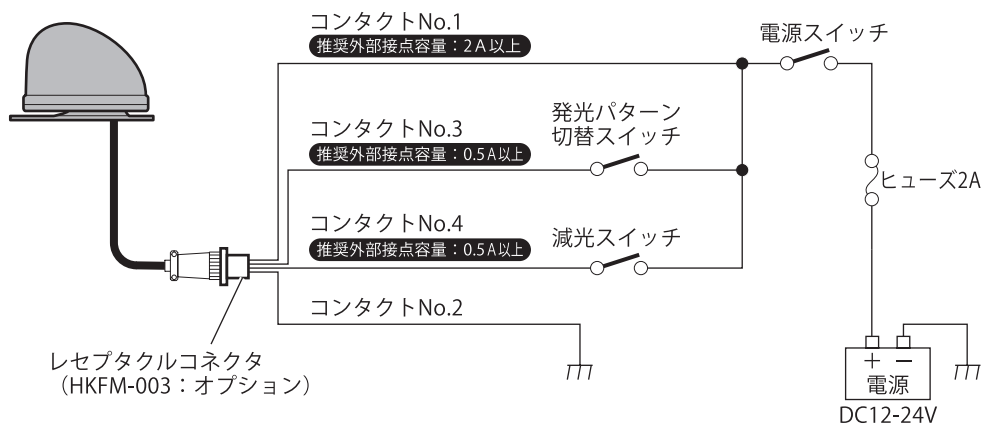
警告

- ❗ 配線加工作業を行う際は、静電破壊防止のため、体に帯電している静電気を放電させてから作業をおこなってください。
- ❗ 使用電圧を間違えないでください。故障の恐れがあります。
- ❗ 本製品の設置や配線、修繕をおこなう際は、必ず非通電状態にしてください（バッテリーの（-）端子を外すなど）。発火や感電、故障の原因となります。
- ❗ 本製品に接続する機器の保護のため、電源の配線には必ず規定容量のヒューズを入れてください。ヒューズを入れないと、接続する機器の故障や発火の原因になります。
- ❗ 使用しないリード線は他の線や金属部などに接触しないように、1本ごと絶縁テープなどで絶縁処理をおこなってください。本製品の誤作動または他の製品の故障の原因になります。
- ❗ 配線は間違いないように十分注意しておこなってください。本製品や他の製品の故障の原因になります。
- ❗ 配線時にリード線を引っ張ったり、本体に押し込めたりしないでください。
- ⚠ 必ず発光パターンの設定をおこなってから、本製品を設置してください。
- ⚠ 配線に使用するリード線はコイル状に巻き付けて使用しないでください。本製品が正しく作動しない恐れがあります。

6.2.1. サイレンアンプを使用する場合（SAP-520P □ -K との配線例）



6.2.2. サイレンアンプを使用しない場合

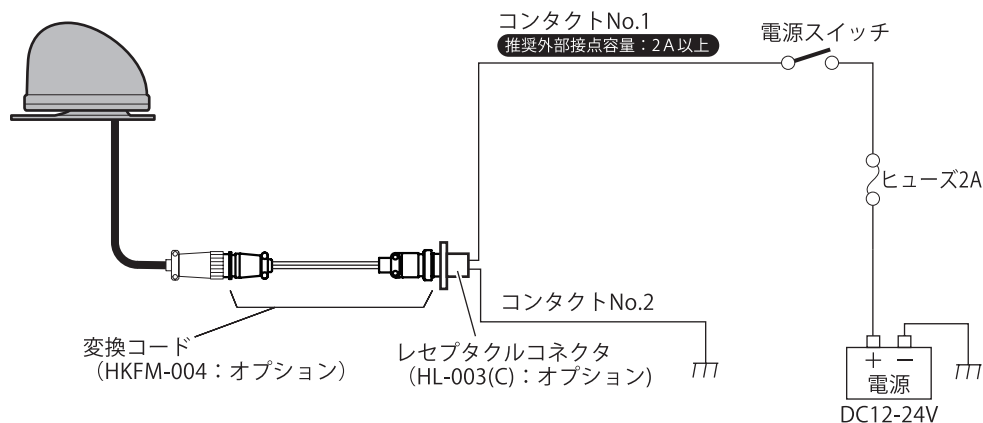


6.2.3. レセプタクルコネクタ (HL-003(C)：オプション) と接続する場合

本製品 (プラグコネクタ、コンタクト数 4) とレセプタクルコネクタ (HL-003(C)：オプション、コンタクト数 2) を接続する場合、変換コード (HKFM-004：オプション) を使用してください。

⚠ 注意

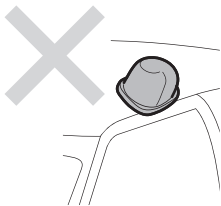
- ❗ HL-003(C) に電源+ / - が正しく配線されていることをご確認下さい。
HL-003(C) と電源が正しく配線されていないと、本製品は作動しません。
- ⚠ 変換コード使用時、減光・発光パターン切り替えはできず、「全発光」、
「発光パターン：CH1」となります。発光グループスイッチの設定はご利用いただけません。



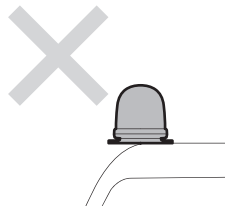
6.3. 設置

⚠ 注意

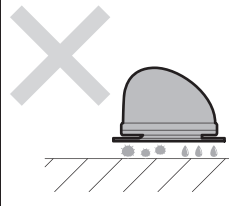
- ❶ 本製品の定格電圧を確認してから使用してください。
- ❷ ラジオや無線機のアンテナからはできる限り遠ざけて取り付けてください。近すぎるとラジオや無線に影響する恐れがあります。
- ❸ 本製品の正面が進行方向になるように設置してください。
- ❹ 本製品を設置する前に、車両のルーフとマグネット裏面の砂埃や雨水などの水分を、乾いた布でよく拭き取ってください。また本製品のマグネットには、鉄片など付着させないでください。着磁力が低下し、本製品が脱落する恐れがあります。
- ❺ 本製品を収納する場合は、サービスプレートに吸着させて収納してください。
- ❻ 本製品を設置する際は、以下に注意して設置してください。



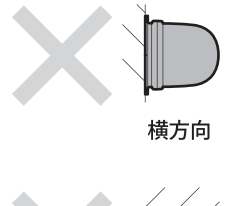
ルーフの曲線に取り付ける



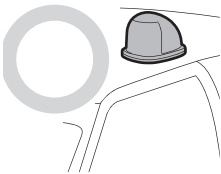
ルーフからはみ出している



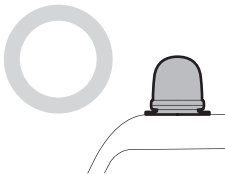
埃や水分など汚れを拭き取っていない



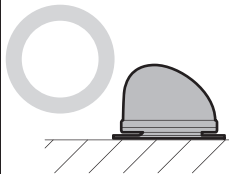
横方向



ルーフの平らなところに取り付ける



ルーフからはみ出していない



汚れを拭き取ってから取り付ける



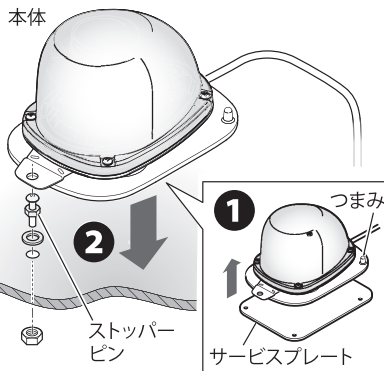
逆方向



正方向

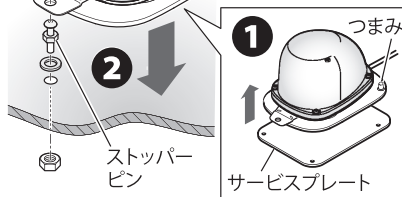
1 製品からサービスプレートを外す

- ・ サービスプレートは、本体のゴムマグネットのつまみをつまんで上方向に引っ張って外してください。
- ・ 外したサービスプレートは大切に保管してください。



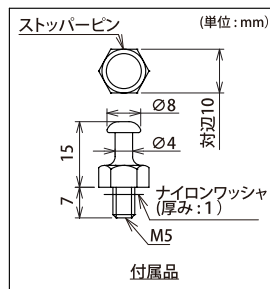
2 本体をルーフに取り付ける

- ・ あらかじめストッパーピンを通す穴をルーフに開けてください。
(ストッパーピン：推奨締め付けトルク 1.4N・m)
- ・ 本体をルーフから外す際は、ゴムマグネットのつまみをつまんで上方向に引っ張って外してください。

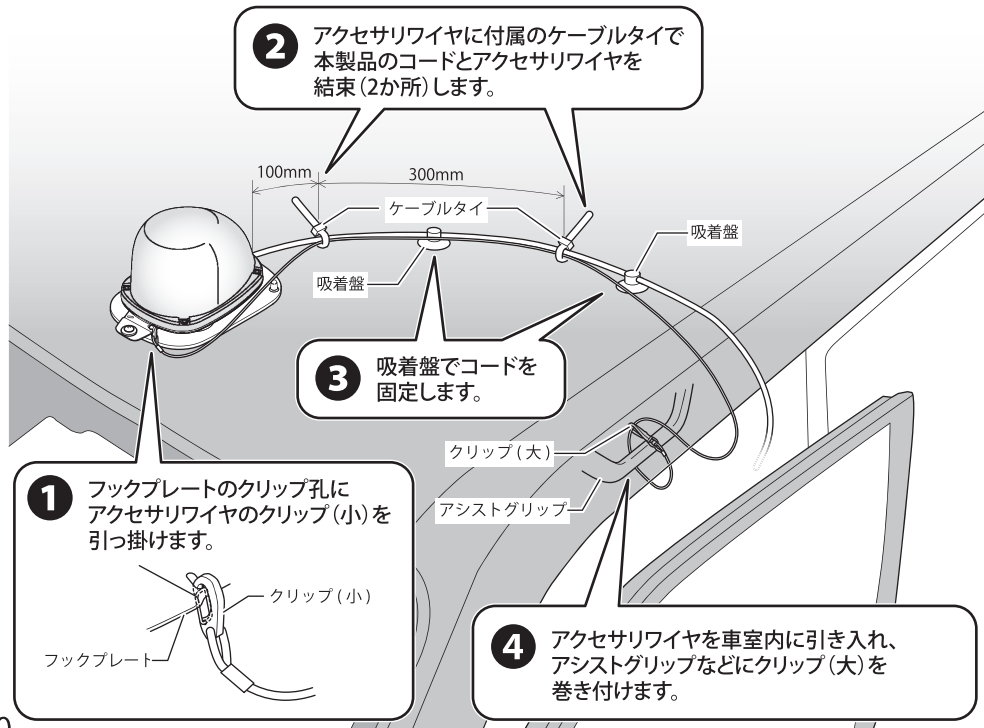


3 本体にアクセサリワイヤを取り付ける

- ・ アクセサリワイヤ (HKFM-002) はオプション品です。
 - ・ アクセサリワイヤの取り付け方法は下記を参照してください。
- ※ アクセサリワイヤを取り付けない場合、本作業は不要です。



●アクセサリワイヤ (HKFM-002) の取り付け方法



6.4. 操作

注意

- ❶ プラグコネクタは必ずプラグコネクタ本体を持って抜き差ししてください。コードを引っ張ったり、プラグコネクタに押し込めたりすると故障の原因になります。

6.4.1. サイレンアンブを使用する場合（例：SAP-520P □ -K）

下記は、「6.2.1. サイレンアンブを使用する場合（SAP-520P □ -K との配線例）」（P.7）の配線図の通りに配線した場合の操作方法を記述しています。

サイレンアンブのスイッチの詳細に関しては、サイレンアンブの取扱説明書を参照してください。

操作項目	動作内容
電源を ON する	サイレンアンブの「警光灯スイッチ」を ON にします。
減光する	「車両用スモールライトスイッチ」を ON にします。 ・ ON：減光 ・ OFF：全光
発光パターンを切り替える	サイレンアンブの「点滅切替スイッチ」の ON/OFF を切り替えます。 ・ ON：CH2 ・ OFF：CH1
電源を OFF する	サイレンアンブの「警光灯スイッチ」を OFF にします。

6.4.2. サイレンアンブを使用しない場合

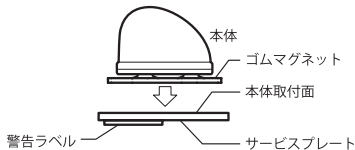
下記は、「6.2.2. サイレンアンブを使用しない場合」（P.8）の配線図の通りに配線した場合の操作方法を記述しています。

操作項目	動作内容
電源を ON する	外部の「電源スイッチ」を ON にします。
減光する	「減光スイッチ」を ON にします。 ・ ON：減光 ・ OFF：全光
発光パターンを切り替える	「発光パターン切替スイッチ」の ON/OFF を切り替えます。 ・ ON：CH2 ・ OFF：CH1
電源を OFF する	外部の「電源スイッチ」を OFF にします。

7. 保守、点検方法

⚠ 警告

- ① 製品保管時に必ずサービスプレートを付けてください。サービスプレートを付けずに保管すると、ゴムマグネットが変形し、着磁力を低減させ、脱落する恐れがあります。
- ① サービスプレートは、警告ラベルが貼っていない面を本体側にして取り付けてください。警告ラベルの貼ってある面に本体を取り付けると、ゴムマグネットが変形する恐れがあり、着磁力が低減する原因となります。着磁力が低減すると本体が脱落する恐れがあります。



⚠ 注意

- ① グローブの取外し・締め付けトルクに注意してください。グローブの破損、落下の原因になります。
- ① 安全確認のため、年に1～2回定期的にゴムマグネットを固定しているねじの増し締めを必ずおこなってください。
- ① 定期的にゴムマグネットのマグネットが大きく剥がれていないことを確認してください。剥がれている場合は、落下の原因になるためゴムマグネットを交換してください。
- ① 本製品に付着した汚れは、水を含ませて固く絞った柔らかい布などで拭き取ってください。シンナーやベンジン、ガソリン、油、薬品などで拭かないでください。変色や変質の原因になります。
- ① グローブを外したままの走行や放置は、絶対にしないでください。

7.1. グローブ、グローブパッキン交換方法

① グローブを外す

グローブのネジ（4か所）を外してから、ベース側のベルトのネジを外します。

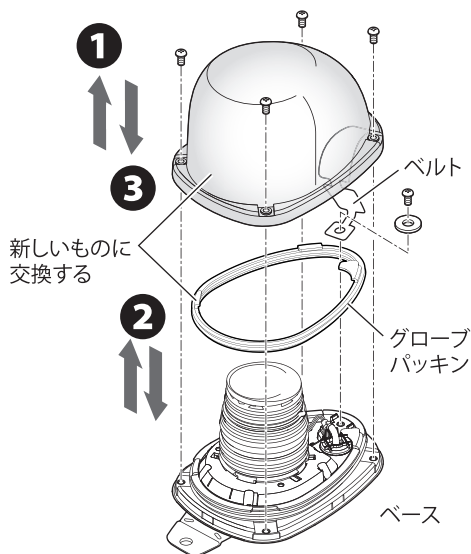
※グローブが密着して外れない場合はP6の『グローブが外れない場合』を参照し、作業をおこなってください。

② グローブパッキンを交換する

- ・グローブパッキンはねじれないように注意してください。
 - ・ベースの切り欠きにグローブパッキンのベロ（3か所）を合わせてください。
- ※グローブパッキンを交換しない場合、本作業は不要です。

③ 新しいグローブを取り付ける

ベルトのネジを締め付けてからグローブのネジ（4か所）を締め付けてください。（ベルトのネジ:推奨締め付けトルク 0.6N・m）（グローブのネジ:推奨締め付けトルク 0.6N・m）



7.2. ゴムマグネット交換方法

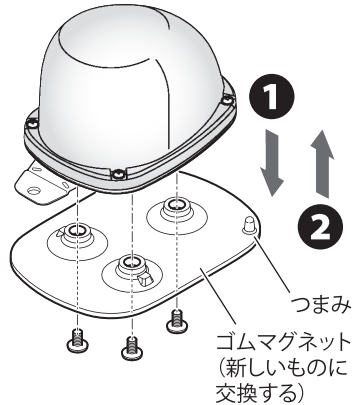
1 ゴムマグネットを外す

- あらかじめサービスプレートを外してからゴムマグネットのネジ（3か所）を外します。
- サービスプレートは、本体のゴムマグネットのつまみをつまんで上方向に引っ張って外してください。

2 新しいゴムマグネットを取り付ける

(推奨締め付けトルク 1.4N・m)

- あらかじめ新しいゴムマグネットについているサービスプレートを外してください。
- サービスプレートは、本体のゴムマグネットのつまみをつまんで上方向に引っ張って外してください。
- 交換した後は、サービスプレートに取り付けてください。



8. 困ったときは

修理を依頼される前に、下記内容を確認してください。

それでも正常に作動しない場合やご不明な点があれば、技術・修理相談窓口へお問い合わせください。

症状	確認内容	処置方法
回転 / 点滅作動しない	電源が供給されていますか？	プラグコネクタをレセプタクルコネクタにしっかり差し込んでください。 電源入力線の接続を確かめてください。
	正しい電圧を印加していますか？	適正な電圧でご使用ください。
	ヒューズが切れていませんか？	ヒューズ切れの要因を取り除き、新しいヒューズと交換してください。
	アース線が正しく結線されていますか？	アース線を正しく結線し直してください。
減光しない	減光線が正しく配線されていますか？	減光線を正しく結線し直してください。
発光パターンが切り替えできない	発光パターン切替線が正しく結線されていますか？	発光パターン切替線を正しく結線し直してください。

9. 仕様

型 式	HKFM-M1GSMF-R
定格電圧	DC12-24V
電圧許容範囲	DC10-30V
最大消費電流	DC12V 時：0.85 A
	DC24V 時：0.45 A
最大消費電力	10.8 W
使用周囲温度	-30°C～ +80°C
使用周囲湿度	90%RH 以下、結露なきこと
取付仕様	ゴムマグネット取付
取付場所	屋外可（車載用）
取付方向	正方向
耐水性	JIS D 0203 ₋₁₉₉₄ S2
耐振動性	45m/s ² (JIS D 1601 ₋₁₉₉₅)
発光色	赤
光度	400cd
質量	980g（コード含む、サービスプレート除く）
備考	EMC は ECE R10.06 のレベルを満足する。 ※ LED の特性上、LED 単体または製品毎で色調ばらつき、明るさ違いが発生する場合があります。

10. 補修パーツ



注意

△ 補修などでグローブを交換する際は、下表のグローブ赤を購入してください。異なる色で交換すると、道路交通法等に抵触する恐れがあります。

品名	品番	個数	付属品
グローブ赤（脱落防止ベルト付き）	GA0007875-F1	1	取付ネジ 4 個
グローブパッキン	GA0006138-F1	1	なし
ゴムマグネット	GA0006151-F1	1	・サービスプレート ・取付ネジ 3 個
ストッパーピン	A85149003-F1	1	ナイロンワッシャ 1 個

11. オプションパーツ

本製品には下記のオプションがあります。

品名	品番	付属品	備考
収納袋	SKF-001	なし	—
アクセサリワイヤ	HKFM-002	ケーブルタイ 2 本	P10「アクセサリワイヤ (HKFM-002) の取り付け方法」を参照
レセプタクルコネクタ	HKFM-003	・レセプタクルキャップ ・キャップ用ローブ	P7「6.2.1. サイレンアンブを使用する場合」、 P8「6.2.2. サイレンアンブを使用しない場案」を参照
変換コード	HKFM-004	なし	P8「6.2.3. レセプタクルコネクタ (HL-003(C): オプション) と接続する場合」を参照

この保証規定は、お客様がお買い上げ頂いた製品に関して、株式会社パトライト（以下、「弊社」といいます）が保証する内容について明記しています。

第1条（目的）

1. 本規定は、弊社の製品（以下、「本製品」といいます）に関する保証責任の取扱いについて定めるものとします。
2. お客様が本製品の使用を開始された時点で、お客様は本規定に同意して頂いたものとし、お客様と弊社との間で本規定の効力が有効に生ずるものとし、

第2条（保証対象および保証期間）

弊社は、お客様が本製品を購入された日から1年以内（以下、「保証期間」といいます）に本製品について以下の各号のいずれかに該当した場合（以下、「不良」といいます）、次条に定める保証責任を負うものとします。

- ① 本製品の外形または内部に本製品の用途または機能を損なう変質または変形が発生した場合
- ② 本製品が製品仕様書に定められた性能を発揮しない場合

第3条（保証内容）

1. 弊社は、本製品に不良が生じた場合（以下、「不良品」といいます）、自らの裁量によって無償による修理または代替品の提供のいずれかの措置を講じるものとします。
2. 弊社が前項の措置を講じた場合、当該措置がなされた本製品の保証期間は、当初の不良品に関する保証期間と同一とします。
3. 弊社が第1項に基づきお客様に対して本製品の代替品の提供を行った場合、弊社において回収致しました不良品の所有権は、弊社に帰属するものとします。
4. 弊社は、第1項の代替品の提供に関して、製造中止等の諸事情により同一製品を提供できない場合には、自らの裁量により本製品と同等以上の性能を有する製品を提供できるものとします。
5. 以下の各号の部材は、保証の対象外とします。
 - ① 消耗品（モーター・電球・ロータゴム・パッキン・Oリング・キセノン基板等）
 - ② 輸送における本製品の保護を目的とした梱包材料（製品梱包箱・ビニール袋・緩衝材等）

第4条（免責事項）

1. 弊社は、以下の各号のいずれかに該当する場合、不良に関して前条に定める保証責任を負わないものとします。
 - ① 本製品の輸送・運搬中に発生した衝撃・落下等の外部的要因により不良が発生した場合
 - ② 本製品の製品仕様書・取扱説明書・取り扱い上の注意等に違反することにより不良が発生した場合
 - ③ 本製品が設置または接続された装置・機器・車両・船舶・建造物・ソフトウェア等による外的要因に起因して不良が発生した場合
 - ④ お客様または第三者が事前に弊社の承諾を得ることなく本製品の分解・改造・補修・付属品取付等を行ったことにより不良が発生した場合
 - ⑤ お客様または第三者の故意または過失により不良が発生した場合
 - ⑥ お客様が第5条第3項の禁止事項に違反した結果、不良が発生した場合
 - ⑦ 火災・地震・台風・落雷等の天災地変または公害・塩害・静電気・停電・異常電圧等の外部的要因に起因して不良が発生した場合
 - ⑧ 本製品の販売時点における科学または技術に関する知見によっては、弊社が不良を予測することができない場合
 - ⑨ 通常使用に基づく本製品の自然消耗または経年劣化により不良が発生した場合
 - ⑩ 本製品が日本以外の国において使用されたことにより不良が発生した場合

- ① 保証期間の満了後に不良が発生し、お客様において当該不良が保証期間内に発生したことを証明することができない場合

- ② 弊社に対して本書のご提示がない場合

2. 弊社は、第3条第1項の措置の実施の有無を問わず、不良に起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品（本製品と通信回線等）により接続されているか否かを問いません）に関する損害、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません）のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様が使用されるシステム・機械・装置等への本製品の適合性はお客様自身でご確認いただくものとし、弊社はこれらと本製品との適合性について一切の責任を負わないものとします。

第5条（ソフトウェアの取扱い）

1. 本製品に弊社が著作権者であるソフトウェア（以下、「本ソフトウェア」といいます）が内蔵されている場合、弊社は、お客様に対して本ソフトウェアを日本国内で使用する非独占的で譲渡不能な使用权を許諾するものとします。
2. 弊社は、本ソフトウェアの機能を向上させるべく、自らの裁量により本ソフトウェアをバージョンアップすることができるものとします。弊社は、ソフトウェアのバージョンアップに起因してお客様に生じた通常損害、特別損害、機会損失、逸失利益、事故補償、当社製品以外の製品（本製品と通信回線等）により接続されているか否かを問いません）に関する損害、損失、不具合、データ損失および不良を修補するための費用（人件費、工事費、交通費、運送費等をいいますが、これらに限られません）のいずれに関しても、一切の責任を負わないものとします。
3. お客様は、事前に弊社の承諾を得ることなく、以下の各号の行為を行ってはならないものとします。
 - ① 本ソフトウェアを複製すること
 - ② 本ソフトウェアの改変・結合・リバースエンジニアリング・逆コンパイル・逆アセンブル等を行うこと
 - ③ 本ソフトウェアを第三者に対して再使用許諾・貸与・レンタル・転売すること
 - ④ 本ソフトウェアを第三者に送信可能な状態でネットワーク上に蓄積すること
 - ⑤ 本ソフトウェアに付されている著作権表示およびその他の権利表示を除去すること

第6条（その他）

1. 本製品に関する製品仕様書・取扱説明書・カタログ等の記載内容は、事前に予告なしに変更する場合があります。
2. 本製品に関する弊社の責任は、本規定をもって全てとし、弊社はこれ以外に一切の責任を負わないものとします。
3. 本保証書は、日本国内においてのみ有効に効力を生ずるものとします。お客様または第三者が本製品を海外へ輸出される場合、本規定の適用は除外されるものとし、本製品に関する全ての責任は、輸出元に帰属するものとします。
4. 弊社は、お客様による紛失・損傷等の事由を問わず、お客様に対して本書の再発行を行わないものとします。
5. 本書は、本書に明示した条件に基づき保証をお約束するものです。従って、本書によって弊社およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

第7条（準拠法および管轄裁判所）

本規定は、日本法を準拠法とし、日本法に従って解釈されるものとします。本規定の履行および解釈に関して紛争が生じたときは、大阪地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とするものとします。

以上
株式会社パトライト

<ご注意>本製品保証規定は、2014年6月1日より適用されます。万が一、お客様がお買い上げ頂いた製品に弊社の旧製品保証規定が記載された取扱説明書が同封されていた場合であっても、本規定の効力のみが適用されますので、ご了承下さい。

世界中に「安心・安全・楽々」をお届けする

株式会社 **パトライト**

J2F

www.patlite.co.jp

〔受付〕月～金 9:00～17:00

●技術・修理相談窓口（無料）:0120-497-090

土・日・祝日・当社休業日を除く

*ご注文・価格・納期等は、販売店または各営業所拠点にお問い合わせください。